α最適化編 #1. 行列とは 腕試し問題

α 最適腕 I (ASU1)

学籍番号	氏/名	提出方法(〇 で囲む)	答案枚数	提出(〇 で囲む)						
1w152314	趣四陽祐	対面 / 提出用フォルダ / FAX / 郵送	2 枚	新規 / 再提出	Total Commence of the Commence					

【TA記入】 提出日時				添 削 日 時			得 点			
/	()	:	担 当	/	()	:	担 当	/10 点

この授業で得た知識を駆使し、次の問題を解きなさい(10点満点).

解答は 枠内に、濃く はっきり と記入 すること.

◇ 要説明 の問では、答えを導くための過程を数式や日本語で詳しく説明すること.答えのみの場合は 0点とする.

この問題は授業内の知識で解けるが、それを超えるような知識・定理を使うのであれば説明・証明してから使うこと。

♠ 要説明

(1) (i,j) 成分 a_{ij} が以下の式で定義されている 3×3 行列 $A = [a_{ij}]$ を求めよ.

$$a_{ij} = \frac{2ij}{i+j}.$$

(解答にかかった時間 <u>5</u>分)

(2) 次の行列 $B=[b_{ij}]$ は (i,j) 成分が以下の式で定義されている. 係数 lpha,eta を求めよ.

$$B = \begin{bmatrix} 0 & \frac{3}{4} \\ \frac{3}{5} & 0 \end{bmatrix}, \qquad b_{ij} = \frac{3|i-j|}{\alpha i + \beta j}.$$

(解答にかかった時間 _5__ 分)

【解答欄】

$$\Delta_{11} = \frac{2 \cdot 1 \cdot 1}{1 + 1} = 1$$

$$\Delta_{11} = \frac{2 \cdot 1 \cdot 1}{1 + 1} = 1$$

$$\Delta_{12} = \Delta_{21} = \frac{2 \cdot 1 \cdot 2}{1 + 2} = \frac{4}{3}$$

$$a_{13} = a_{31} = \frac{2 \cdot 1 \cdot 3}{1 + 3} = \frac{3}{2}$$

$$A_{22} = \frac{2 - 2 \cdot 2}{2 + 2} = 2$$

$$\Delta_{23} = \Delta_{32} = \frac{2.2.3}{2+3} = \frac{12}{5}$$

$$A_{33} = \frac{2 \cdot 3 \cdot 3}{3 + 3} = 3$$

$$A = \begin{bmatrix} A_{11} & A_{12} & A_{13} \\ A_{21} & A_{22} & A_{23} \\ A_{31} & A_{32} & A_{33} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & \frac{4}{3} & \frac{3}{2} \\ \frac{4}{3} & \frac{12}{5} \\ \frac{3}{2} & \frac{12}{5} & 3 \end{bmatrix}$$

【TA 記入】

あり ・ なし